

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター元浜担当圏域レベル）開催報告書

|                  |  |
|------------------|--|
| 1 開催日時           | 令和7年11月21日（金）<br>9時30分 ～ 11時30分  |
| 2 開催場所           | 福祉交流センター大会議室   |
| 3 参加者            | 17名<br>委員8名（曳馬5名、北地区3名）、関係機関9名   |
| 4 協議の内容          | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 挨拶 元浜圏域生活支援体制づくり協議体会長</li> <li>3. 協議事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第1回協議体会議振り返り 浜松市社協 益本 薫</li> <li>(2) 居場所について                 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域の様子について 浜松市社協 益本 包括元浜 清水</li> <li>② グループワーク                     <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 参加者が知っている「集いの場」の取組み</li> <li>2. 関われそうな地域の社会資源</li> <li>3. 「集いの場」に対して協議体メンバーができる事</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> </li> <li>4. 連絡事項<br/>次回会議日程・開催場所</li> <li>5. 閉会 元浜圏域協議体委員 元井 道一</li> </ol> |
| 5. グループワーク<br>詳細 | <p>(1)参加者が知っている「集いの場」の取組み</p> <p><b>【曳馬】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域のサロン<br/>もカフェ（認知症カフェ）・見晴らしカフェ・子ども食堂</li> <li>② 学習支援 ⇒子供だけでなく、ボランティア自身が地域と関わる居場所でもある。<br/>※居場所同士が連携してイベントや事業を行っている所もある。</li> <li>③ シニアクラブ<br/>代表が活動について積極的な姿勢。シニアクラブ同士の交流もある。</li> <li>④ 協働センター<br/>講座運動や体操の講座が特に人気がある。講座以外でもWIFIがあるので子供や若者も来所している。</li> </ol> <p><b>【北】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① I八百屋は地域の集いの場として地元の人知っている。</li> <li>② 中沢マルシェ 地域のお年寄りなど、自分で見て買いたい人が集っている。</li> </ol>  |

③ Y商店 商品を自宅まで届けるサービス。困り事相談に乗り、民生委員に繋げた事もある。

⇒地域の個人商店が減っている。マックスバリュや杏林堂、遠鉄ストアも近辺にあるが地域の高齢者が買い物に行けないし、購入しても運べない。結果的に買い物支援の会場が集い場になっている。

## (2) 関われそうな地域の社会資源

### 【曳馬】

- ・阿弥陀のシニアクラブを参考に、地区外からも参加できると良いのでは？
- ・シニアクラブと子どもの連携
- ・学校の行事⇒PTA や学校運営協議会などとの連携。

### 【北】

- ・学校との連携。土日などハンドベルや合唱でのコラボなど
- ・高齢者の移動の支援で介入したいが、事故などが懸念される。
- ・お寺での絵手紙、習字教室
- ・天林寺での写経やワークショップ
- ・旧北小学校がインターナショナルスクールになる。地域の事業と連携なども
- ・元浜では「平安の杜」も連携してくれる。
- ・子ども会の担い手も減っている。連携する必要性がありそう。

## (3) 「集いの場」に対して協議体メンバーができる事

### 【曳馬】

- ・協議体内で社会資源の共有をする。
- ・集いの場に参加しない理由を調査する。  
⇒移動手段？老化による自信不足？内容？など詳細を正確に。
- ・地域ケアマネ向けアンケート
- ・地区社協歳末事業の対象者にアンケートを行う

### 【北】

- ・若いころから地域の活動に参加していないと参加しにくい。
  - ・シニアクラブに若い年代に参加してもらえるような内容や時間設定をする。
  - ・地域の方が参加しやすいような事業の配慮。
  - ・公民館が新しくなるタイミングなどで、何かできれば
- ⇒健康についての意識が高いから、握力や血圧身体測定などもできそう。

「地域の循環器科の医師」も協力してくれるかも。

⇒詐欺被害など中央署に協力してもらおう。

6. 今後の見通し・  
必要な対応

- ・本会議では「集い場」について委員を中心に聞き取りを行った。  
本会議の報告と、残る「担い手」「広報周知」についても委員に聞き取りを行う。
- ・第二回協議体会議では、本会議で収集した情報を報告。  
聞き取り内容から令和8年度で元浜圏域協議体での活動内容を検討する。